

る「ブックスタート事業」は、引き続き支援します。

その他、小学生を対象とした「鹿部キッズクラブ」、幼稚園児を対象とした「預かり保育ひまわり」や0～2歳児を対象とした「ひよこ」を引き続き実施し、安心安全な子育て支援に努めます。

成人式については、令和4年4月から成年年齢が18歳に引き下げられますが、式典の名称を変更し、今までどおり20歳を対象に実施します。その中で、新事業として、希望者によるヘリコプターで鹿部の上空を体験飛行していただき、生まれ育ったふるさと鹿部への誇りと愛着を持ち、ふるさとの発展に貢献できる人材の育成を図ります。

高齢者を対象とした「シルバーカレッジ」は、参加を通じて仲間づくりの輪を広げ、地域社会で健康に生き生きと活躍していただく

ために力を入れてきた事業ですが、新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえ、参加者や関係者の安全と感染防止を最優先し、令和4年度は中止としますが、コロナ禍においても実施可能な方法などについて引き続き検討します。

芸術文化活動については、各文化団体の自主的な活動を支援するほか、日頃の練習の成果を広く町民に知ってもらうため「文化祭」など、発表の機会の充実に努めます。

公民館図書室については、令和3年度に更新した図書管理システムを活用し、多くの町民が気軽に本に親しむ環境の充実に努めます。また、学校図書館への読書推進委員の派遣を継続し、読書環境の整備を図ります。

少子高齢化が進む中、年齢、性別、体力や技術に関わらず、誰もがスポーツやレクリエーション活動に取

り進むことができる環境づくりが重要であり、各種スポーツ教室など日頃からスポーツに親しむ機会を提供するとともに、スポーツ推進委員、スポーツ協会や鹿部カールスクラブなどの関係団体と協働し、町民ニーズに対応できる指導者の養成と大会の運営に対する支援を進めます。

スポーツ少年団活動については、優先的に練習の場を確保するなど、日常的な活動をサポートするとともに、町主催の大会を開催し、他市町で同じスポーツに取り組む子どもたちとの交流を促すことで、技術力の向上や意欲の高揚につながるよう努めます。

公民館、スポーツ施設については、町民がいつでも気軽に安心して利用できる利用者の視点に立った維持管理に努めます。特に、総合体育館では、雨漏りにより利用者にご不便をお掛け

していたことから、令和4年度に基本設計を実施し、できるだけ早期に抜本的な改修を進めます。

以上、令和4年度の教育行政の執行に関する基本的な考え方と主な施策について申し上げます。

これまで当たり前だった日常が大きく変わり、教育委員会の事業や学校行事などが制限され、暗いニュースが多かった令和3年度に、本町の誇りである北海道日本ハムファイターズの伊藤大海選手が、シーズンを通

しての活躍は言うまでもなく、東京2020オリンピックにおいて見事金メダルを獲得し、多くの町民に勇気と感動を与えてくれました。そして学校訪問では、目標に向かって毎日努力を積み重ねることの大切さを子どもたちに語っていただき、夢と希望をも与えてくれました。

令和4年度、コロナ禍による環境変化をチャンスと捉え、前向きに努力を積み重ねることを忘れることなく、全ては町民のため、そして子どもたちのために、教育委員会として全力で取り組んでいきますので、町民皆様、町議会議員皆様の一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。令和4年度の教育行政執行方針とします。